



## あなたは何を実らせる？実りの秋を充実させよう！



41日間の夏休みも終わり、昨日から前期後半がスタートしました。まだまだ残暑厳しい毎日が続いていますが、暦の上ではもう「秋」です。ライフタウンの至る所にゆく夏を惜しむかのようにピンク色の百日紅の花が咲いています。秋と言えば「読書の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」等、いろいろな言葉で表現されますが、暑かった夏に対して、じっくり腰をすえて何かに取り組むには最適の季節です。引地川沿いの田んぼの稲穂も実り、黄金色に輝いている景色を見ることができます。子どもたちにもこの稲穂のように、この秋に自分の夢や目標につながる何かをじっくりと実らせてくれたらと思っています。

## 多くの人に感動を与えてくれた甲子園決勝戦！



8月23日、全国高校野球選手権大会の決勝戦が甲子園球場で行われました。結果は神奈川県代表の慶応高校が大会連覇を狙った仙台育英を破り、107年ぶりに2度目の優勝を果たしました。試合内容や結果はともかく、この両チームは私たちに多くの感動と教訓を与えてくれたのではないかと思います。

優勝した慶応高校は自由な髪形で象徴される従来のスタイルとらわれない「エンジョイ・ベースボール」で頂点をつかみましたが、そこには森林監督の髪形といった表面的なことだけではなく、言わば“甲子園が終わりではなく、甲子園の先に人生はある”といった確固たる信念があったようです。具体的には「将来、自分が人生の壁にぶつかった時、自分で未来を切り拓かなければいけない。指導者からのサインや指示を待つことだけに慣れてしまうと“考えること”をやめる可能性があります。ちょっと遠回りになっても、選手に考えさせて、試行錯誤して最終的に自分で掴んだものが真の力になるのでは」という指導方針です。子育てをするうえで大変参考になる考え方ではないでしょうか。私たち大人は子どもたちに対して、ついつい先回りをして失敗させないように指示や忠告をし過ぎてしまう傾向があります。しかし、人は自分で主体的に考え、選択し、さまざまな失敗を繰り返しながら、成長していくものだと思います。なぜなら、自分が決めたことは他人のせいにはすることはできず、責任を負わなければならないからです。よく言われる“自由”と“責任”を経験しながら、大人になっていくのではないのでしょうか。3年生にとっては、これから進路を決定していく時期となります。この夏にもさまざまな高校の説明会や見学会に参加したのではないかと思います。今後も自分の目で確かめ、肌で感じながら適切な進路選択をして欲しいと思います。

一方、破れた仙台育英の監督・選手たちも大変立派でした。相手の優勝インタビュー中、監督・選手全員がベンチ前に出て相手の声を聞き、拍手をしていました。須江監督は報道陣の取材に「人生は敗者復活戦です。この経験を次に活かします」と答えています。日頃から監督は「負けた時に人間の価値が出るからグッドルーザーであれ」と選手に伝えているそうです。グッドルーザーとは潔く負けを認め、相手の勝利に敬意を払い、試合に関わる人たちに感謝できる人のことを言います。試合に勝てば、自分の努力が報われて誇らしく、誰からも祝福を受けるでしょう。しかし、負けてしまった時こそ、どんな振る舞いをするのか、負けを潔く受け入れられるのかが問われます。実はこの「負ける経験」こそが、子どもたちの課題発見力やレジリエンス（困難をしなやかに乗り越え回復する力）を養う大きな成長の機会となるのです。本校の生徒にも部活動や行事等を通してこのような経験をしてもらえたらと思っています。

## 9月1日は「防災の日」～関東大震災から100年～

本日9月1日は「防災の日」です。今年は1923年9月1日に発生した関東大震災



災から100年の節目を迎えます。この震災では死者・行方不明者は10万人を超え、明治以降の日本では最大の災害となりました。そして、そのような非常事態の中で「朝鮮人が井戸に毒を入れた」などというデマが流れ、朝鮮人が虐殺され、さらに地方出身の日本人までも差別の被害に遭うことになりました。（現在、『福田村事件』という映画でも紹介されています。）本校でも災害時に生徒自らが主体的かつ冷静な判断ができるように、より現実的かつ効果的な防災教育を推進してまいります。例えば、これまでの防災訓練というと、事前に訓練を行う時間を決め、全校放送で地震等が発生したことを伝え、教師の指示のもと、整然と行動し、いかにすばやく校庭に避難できるかを指すものがほとんどでした。しかし、実際、災害はいつ起こるかわかりません。登下校中や休み時間に起こる可能性もあります。また、余震が起こる可能性もあり、校庭に出ることが必ずしも安全とも限りません。今後、学校でも改善を図ってまいります。ご家庭でも今一度、災害が起きたときの約束事などをご確認いただければ幸いです。

## 『けやきの会』に感謝いたします～標準服リユース～

過日、けやきの会のプリントでもお知らせしましたが、「標準服リユース」を8月24日（木）13時30分から15時に南棟1階25組教室で行いました。そのために「けやきの会」の本部役員の方たちのご多用の中、当日はもちろん前日にも来校され、丁寧に準備・対応していただきました。当日は30名程度の来場者があり、ご購入いただきました。こうしたことができたのも、『けやきの会』本部役員の方たちをはじめ、標準服等をご提供いただいた卒業生の保護者の皆様のおかげとっております。この場を借りて、改めて心より感謝いたします。なお、売上金はすべて寄付金として扱われ、生徒の学校生活の充実のために役立てられます。

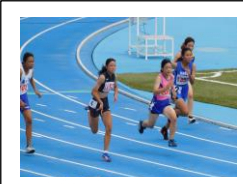


## 地域の方も本校の生徒を見守ってくれています

7/4（火）第2回学校運営協議会で検討された『教員の働き方改革のために』というテーマに関して、委員のメンバーの方々にご賛同いただいた「下校時の見守り」について、早速、湘南大庭地区社会福祉協議会の方々にご協力いただき、実現することとなりました。具体的にはテスト1週間前の8/31、9/1、4、5の4日間、生徒が一斉下校となる時間に社会福祉協議会の方々がお住まいの近くの通学路に立っていただき、下校の様子を見守っていただきます。生徒には昨日の全校集会で「エンジ色の腕章をつけた方が皆さんの下校の様子を見守っているの、気がついたら挨拶してください。」と伝えました。保護者の皆様もご承知おきください。

## 部活動においても“熱い”夏でした！

夏休み中、運動部の中には湘南地区大会、県大会と勝ち進み、活躍した選手が数多くいました。陸上競技部も8/27（県立スポーツセンター）、28（柳島運動公園陸上競技場）に市内陸上が開催され、暑い中、ベストを尽くしました。また、運動部だけではなく、文化部もさまざまな大会やコンクール等に参加して活躍しました。



7/23（日）には藤沢市民会館で『ふじさわ合唱祭』が開催され、一般の方や高校生の合唱団に混じって本校の合唱部も参加しました。中学生らしい透き通るような歌声は聴いている人を魅了しました。また、7/28（金）にはTBS子ども音楽コンクール江戸川地区大会に出場し優良賞を、8/4（金）にはNHK全国学校音楽コンクール県予選では奨励賞を受賞しました。



7/29（木）には茅ヶ崎市民文化会館で湘南吹奏楽コンクールが開催され、本校の吹奏楽部が参加。B部門で見事、金賞を受賞し、湘南地区の代表として8/10（木）に神奈川県民ホールで行われた県吹奏楽コンクールにも出場しました。指揮者を中心に心一つにして真剣な表情で楽器を演奏する姿は胸打たれるものがありました。また、当日は多くの保護者の皆様や卒業生が応援やお手伝いに駆けつけてくれました。



8/26（土）にはボランティア部が二番構公園で開催された夏祭りに企画・準備の段階から参加し、模擬店の受付等にも献身的に取り組み、地域の中で中学生の力を十分に発揮してくれました。科学部や美術部も含め、今後の文化発表会での活躍が大いに期待できます。

